

2019年3月11日

「武蔵野銀行SDGs宣言」の制定について

武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）では、3月11日（月）、SDGs（国際連合「持続可能な開発目標」）達成に貢献し、持続可能な経済・社会・環境の実現を目指す「武蔵野銀行SDGs宣言」を制定しましたので、お知らせします。

当行では、創業以来「地域共存」「顧客尊重」の経営理念のもと、地域経済の発展、地域社会の活性化や地方創生、自然環境の創出・保全などに取組んでまいりました。

そして、SDGsを経営理念やこれまでの取組みと合致するものと捉え、2018年9月よりSDGs私募債「みらいのちから」の取扱いを開始したほか、研修を通じた役職員の理解向上などに努めてまいりました。

本宣言は、こうした取組みの更なる深化を図り、一層の地域への貢献を目指し制定したものであり、当行は今後もステークホルダーの皆さまと手を携えながら、持続可能な社会づくりに注力してまいります。

1. 武蔵野銀行SDGs宣言

武蔵野銀行はSDGsの目標達成に貢献するため、グループ全役職員が取組むことを宣言します。

（銀行の責任・役割）

- ・ 地域経済の持続的発展に貢献するため、金融仲介機能を発揮するとともに、お客さま本位の業務運営を常に実践します。

（持続可能な地域社会）









- ・ 産業や雇用、まちづくりや生活など、持続可能な地域社会の創造に貢献するため、行政・企業・NPOなど多様な主体とのパートナーシップのもと取組みを行ってまいります。

（地球の持続可能性への貢献）

- ・ 気候変動や人権などの課題を自分ごとと捉え、グローバルな持続可能性に貢献します。

2. 目指すべき姿（重点領域）

宣言に基づき、SDGsの17の全ての目標の重要性を認識したうえで、武蔵野銀行グループが目指すべき姿を以下の通り設定しました。

<p>持続的成長の源泉としての企業統治 企業統治を持続的成長の源泉と位置づけ、創業以来不変の経営理念に基づく確固たる銀行経営を志向します。</p>	 
<p>持続可能な地域経済 地元産業のイノベーションや地産地消の促進、快適かつ強靱なまちづくりに貢献し、持続可能な経済成長を実現します。</p>	  
<p>いつまでも自分らしく暮らせる地域社会 全ての人々が自分らしく、健康で幸福に生活できる社会をつくるため、積極的な取組みを行います。</p>	
<p>気候変動への対応と生物多様性の維持向上 地球規模の気候変動に対応するとともに、地域の豊かな生物多様性の維持向上に取り組めます。</p>	 

3. 具体的な取組み

目指すべき姿の実現に向け、以下の項目を中心とした様々な取組みを積極的に行ってまいります。

- ・ 投融資を通じ、取引先の持続可能な企業行動への働きかけを行います。
- ・ 産業振興や地方創生の基盤(プラットフォーム)を構築します。
- ・ 都市の再生、郊外住宅地の再活性化、中山間部の観光振興等に取り組めます。
- ・ 健康経営を実践します。
- ・ 全ての世代の皆さまに対する金融経済教育に注力します。
- ・ 埼玉の豊かな生物多様性を次世代に継承する取組みを率先して行います。

以 上

報道機関からのお問い合わせ先
総合企画部 小池 廣瀬
048-641-6111 (代) 内線 2183・2151